

水道料金改定の検討状況に関する市民説明会動画アンケート結果等

1 市民説明会動画アンケートの概要

実施期間	令和7年8月28日（木）～ 令和7年10月31日（金）
実施方法	WEB（下関市公式ホームページに掲載）
動画閲覧件数	340件（令和7年11月6日現在）
アンケート回答数	11件　うち、意見等回答数　8件

2 アンケート結果

Q1 この動画により、水道料金改定の必要性について理解できましたか？

1 十分理解できた	1件（9.1%）
2 ある程度理解できた	5件（45.4%）
3 あまり理解できなかった	2件（18.2%）
4 全く理解できなかった	3件（27.3%）

Q2 水道料金改定の検討状況について、ご意見等ありましたらご記入下さい

No.	ご意見・ご質問	局の考え方（回答・対応）
1	物価は上がるばかりで給料は上がらない。何もかも上がれば私たちは生活出来なくなるから、水道料金の値上げは困ります。	この度の水道料金改定は、老朽化した施設・水道管の更新や耐震化を進め、将来にわたって安全・安心な水を安定してお届けするため必要なものになります。料金改定による皆さまの負担を軽減するため、国の「重点支援地方交付金」を活用し、段階的な値上げとなるよう減額措置も実施しますので、ご理解とご協力をお願いします。

No.	ご意見・ご質問	局の考え方（回答・対応）
2	<p>水道料金改定の必要性を理解することはできました。水質を調べると身体に良く無いものがあったニュースなど最近目にしますが、下関は大丈夫なのでしょうか？料金改定を行うのでしたら、より、安心安全な水をお願いします。</p>	<p>ご指摘のニュースについては、全国各地の水道水から、PFAS（ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物）が一定の濃度を超えて検出されたことに関するものと考えます。</p> <p>本市では、PFASのうち、飲用した場合などに健康への影響が懸念されるため、令和8年度に水質管理目標設定項目から水質基準項目に格上げされるPFOS及びPFOAの2物質について、令和2年度（2020年度）から検査を実施し、全ての検査地点において目標値以内であることを確認しています。</p> <p>上下水道局では、定期検査により水道水が水質基準に適合していることを確認しており、水質検査結果についても、市ホームページで公開し、随時、情報提供を行っております。</p> <p>今後も、安全で安心できる水道水の供給に努めてまいります。</p>
3	<p>将来のためにも今改定が必要と感じました。（意見）</p>	<p>—</p>
4	<p>全てのものが値上がっているのととても困ります。市の無駄な支出などを見直したりして、市の財政から捻出してもらいたいです。</p>	<p>この度の水道料金改定は、上下水道局において費用削減など経営努力を行った上で、必要な水準を算定したものです。水道事業に必要な経費は基本的には水道料金による収入で賄わなければならないことが独立採算の原則として法で定められておりますので、これを基本としながら、この度の国の交付金など活用可能な財源があれば、今後も積極的な活用を検討してまいりたいと考えています。</p>

No.	ご意見・ご質問	局の考え方（回答・対応）
5	<p>基本的には、現状を受け入れるしかないと感じていますがこの内容で納得できる市民は皆無でしょう。</p> <p>一番気になったのは、市民への周知の乏しさです。私の周囲ではその事実を知っている人はほとんどいません。ましてや、8月に説明会が開催されていたことを知っている人は皆無でした。市報しものせき10月号でようやく水道に関する特集が組まれるようですが、順序が逆で、広報体制のちぐはぐさを感じます。この問題は、水道局だけの課題ではなく、下関市政そのものの非効率性や部門間の連携不足、未来に対するビジョンの無さが根底にあるように感じます。情報発信の遅れや市民への説明不足は、その象徴のように思えます。</p> <p>こうした姿勢からは、ずっと変わらない行政内部の縦割り体質や危機感の欠如が透けて見えます。この水道料金改定を通して、市の政治体制そのものへの不信感がかつてない程強く感じている、というのが正直なところです。</p>	<p>ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
6	<p>短時間で端的な説明をしてください。</p>	<p>ご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見・ご質問	局の考え方（回答・対応）
7	<p>1. 更新費用の負担について</p> <p>老朽化した施設・管路更新の本格化が値上げの理由になっているのが納得できません。これまで更新せず、問題を先延ばししていたつけを、今の利用者のみから集めようとするのは納得できません。何年前に法定耐用年数の超えた水道管が発生したのかわかりませんが、その当時料金を値上げするなどして、法定耐用年数の超えた水道管を新しくすることも出来たはずです。そうしなかったのはなぜなのか、そして、法定耐用年数の超えた水道管が発生したときには更新する必要がなく、40%を超えた今、更新をする必要性が、なぜ出てきたのか教えてください。</p> <p>2. 基本料金割合について</p> <p>基本料金の割合が高すぎるため不満があります。基本料金を下げ従量料金を高める料金体系はできませんか。従量料金が安ければ節水意識が低くなります。上下水道局は節水についてどのように考えているのでしょうか？</p>	<p>1. 更新費用の負担について</p> <p>老朽化した施設・管路更新の費用は、ご意見のとおり過去・現在・将来の利用者で負担すべきものと考えます。そのため、これまでも、更新の際に必要とする建設費用を法定耐用年数に応じて各年度に計上すること（減価償却費の計上）や企業債を財源とし分割して支払いを行うことなどにより、世代間の負担の平準化を図っているところです。</p> <p>なお、法定耐用年数については、国が定めた資産管理上の耐用年数でありこれを超過すればすぐに使用できなくなるものではありません。事故発生時などの影響が大きい箇所から優先的・計画的に実施しております。</p> <p>2. 基本料金割合について</p> <p>水道事業は、固定費の比率が高いため、基本料金が高くなる傾向にあります。しかしながら固定費を全て基本料金にすると、基本料金が高くなりすぎるので、この度の水道料金の改定については、固定費の一部を従量料金に割り振るなどの調整をしたものとなります。</p> <p>なお、節水については、限りある資源を有効活用するという観点で、重要なものと認識しております。</p> <p>ご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見・ご質問	局の考え方（回答・対応）
8	<p>1. 説明動画の計算例について 見直し案毎の詳細な計算例があったが、0～20m³が同一単価にもかかわらず、20m³使用の例で「10m³×11円+10m³×215円」と分割計算しており、正しくは「20m³×11円」ではないか。</p> <p>2. 財源確保などについて 独立採算だけでの度重なる値上げには限界があるため、国を巻き込んだ財源確保を要望。あわせて水道事業の民営化は避けてほしいと要望する。</p>	<p>1. 説明動画の計算例について 説明動画の計算例は1か月分の従量料金の計算例となります。ご指摘の計算例は2か月分の計算例となります。</p> <p>2. 財源確保などについて 財源の確保については、施設の老朽化対策や耐震化に係る国の補助金の拡充や予算の確保など、強く国に要望していきたいと考えています。 なお、水道事業全体を民営化することについては、現在検討しておりません。</p>

3 その他 【市報、報道等をご覧になった方からいただいたご意見・ご質問】

No.	ご意見・ご質問	局の考え方（回答・対応）
1	<p>物価高騰と低賃金の中で、市民生活は厳しい。 人口減少による収入減を理由に料金値上げを行うと、実質賃金の低下やスタグフレーションを招き、下関の魅力低下と人口流出がさらに進むのではないかと懸念している。</p>	<p>ご意見については、今後の事業運営の参考とさせていただきます。</p>

※ご意見やご質問については、内容を要約・補足したものとしています。また、水道料金改定の検討状況に関係しないご意見等については記載を省略しています